



関ロータリークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E-mail seki-rc@abelia.ocn.ne.jp
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 今峰 徹 ■副会長 大澤竜一 ■幹事 池村真一郎



2016~17 年度国際ロータリーテーマ
「人類に奉仕するロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY
RI 会長 ジョンF. ジャーム
2016~17 年度 関ロータリークラブテーマ
「おもいやり」 第51代会長 今峰徹

第 2464 号 平成 29 年 6 月 13 日 (火)

前例会の記録・第 2463 回 6 月 6 日(火)12:30

「最近の 2630 地区青少年交換事業の活動報告と課題」
地区青少年交換委員会 副委員長 平松洋一様

- ◆開会点鐘
- ◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱
- ◆会長挨拶



皆さん今日は
本日は、国際ロータリー第 2630 地区青少年交換委員会 副委員長 平松洋一様に卓話をお願いしております。また、岐阜南ロータリークラブより、浅野良浩会長がお越しになられております。浅野様におかれましては 50 周年記念式典では大変お世話になりました。

して、御礼申し上げます。今まで小堀憲助さんの本で話をしてきましたが、所々面白い話があります。以前紹介しました、東京ロータリーの黎明期、例会は月一回もなかったとか言う話もあります。本日はシェルドンの話をします。

シェルドンの言った有名な標語の He profits most who serves best というのは皆様ご存じでしょう。最も奉仕するものは最も報いられる、というように訳されています。職業奉仕のバイブルのような標語です。でも、シェルドンが言った元々の意味はこうでは無かったようです。面白い逸話を書いてあり、それは、ニューヨーク州ロチェスターの牧師がシェルドンを教会

に招き、この標語の” Profits “について、皆に「精神的な報いがある」と解説したとき、シェルドンはこれを否定し、{自分をもっと物質的な意味で使ったのであってこの標語は「奉仕に徹すれば儲かる」という意味なのだ} と解説しました。

これが原因で 1949 年の大会では{これは奉仕をえさにして儲けを得るといふ卑しい心を示すものだ} との非難がありましたが、精神的な意味が加味され 1950 年正式な標語になっています。

ロータリーは変革を続ける。そのものです。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 西本理美
会員 45 名中 出席 23 名 出席率 53.49%

◎ニコボックス委員会 委員長 土屋佳久

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日は、地区青少年交換部門 副委員長 平松洋一様にお越しいただきました。お忙しい中お越しいただきありがとうございます。岐阜南 RC 会長 浅野様、先般の関 RC 創立 50 周年式典においてお言葉をいただきありがとうございます。再びお越しいただきありがとうございます。

東谷好司さん・・・平松洋一様、本日は関 RC へお越しいただきありがとうございます。地区としての国際青少年交換の現状について、卓話よろしく申し上げます。

長尾、尾崎、後藤、林(昇)の皆さん・・・青少年交換部門 副委員長 平松洋一様 ようこそ関 RC へ、青少年交換事業の現状と問題点のお話から多くを学び今後の

交換事業に結びつけたいと思います。卓話よろしくお願ひします。

堀部哲夫さん…6月4日、ゴルフ会の最終コンペを行いました。1年間ご協力有難うございました。次年度も長尾委員長のもと、大勢のご参加お願ひします。ちなみに最終回の優勝は私でした。

土屋佳久さん…今年度、ゴルフ会の取切杯をいただけるそうで大変うれしく思います。

岩倉宏幸さん…幹事会の旅行に行かせていただきありがとうございました。ほんの気持ちですが、お土産を買ってまいりましたのでお召し上がりください、

◆「最近の2630地区青少年交換事業の活動報告と課題」

地区青少年交換委員会 副委員長 平松洋一様



平素は青少年奉仕委員会活動に格別のご協力を賜り、誠にありがとうございました。青少年交換事業は、皆様が既知でありますように多感な思春期の高校生を派遣し、同時に受入れるという重大な責務を背負い、また国際ロータリーの真の目的である「国際社会に通じる新世代を育てるという事業」を実施しております。

この大きな目標にクラブの会長さま及び委員長、メンバーの皆様のご理解とお力添えをいただき、大きく育ててまいりたいと考えております。何卒ご理解とご協力のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

依頼事項3点について

①2630地区内の過去20年くらいの派遣、受け入れ学生数は、派遣：910名・受入れ：859名

・近年の人員実績

年度	派遣	夏期受入	春期受入
2013-14年度	男：2人 女：2人	男：1人 女：3人	男：2人 女：1人
2014-15年度	男：0人 女：5人	男：0人 女：5人	男：1人 女：1人
2015-16年度	男：3人 女：3人	男：3人 女：1人	男：2人 女：0人
2016-17年度	男：2人 女：4人	男：1人 女：3人	男：1人 女：2人
2017-18年度	男：0人 女：4人 (予定)		

②派遣先、受け入れ先の国ベスト5か国は、

《派遣順位》

1. オーストラリア
2. アメリカ
3. カナダ
4. ニュージーランド
5. ノルウェー

《受入れ順位》

1. オーストラリア
2. アメリカ
3. カナダ
4. フランス
5. ニュージーランド※但し、現在交換、をしている国々のみ（来年度追加予定：イタリア、スイス）（過去交流実績国：オランダ、ベルギー、ブラジル、メキシコ、マレーシア、スウェーデン）

関RCさまとしての派遣は、28名。受入は、28名と記録。最後に派遣されたのは、2002年3月にオーストラリア9640地区へ派遣の亀井一輝くんです。

③受け入にかかる費用について

岐阜市内のあるクラブの場合、ホストファミリーへの補助金を含め約100万円

○活動計画

1. ガバナー、ガバナーエレクト、地区カウンセラー、アドバイザーを含めた青少年交換委員会の実施。（昨年度年10回開催。）
2. 派遣学生と受入学生の合同による、オリエンテーションを複数回実施。（昨年度年10回開催）*パワーポイントプレゼンスキルの向上
3. 派遣学生とご家族向けの渡航手続き説明会の実施
4. ホストクラブの青少年奉仕委員長、クラブカウンセラー、ホストファミリーと委員会メンバーによる意見交換会の実施
5. 受入学生と帰国学生（ROTEX）による、「夏期研修旅行（長崎または広島方面）」の実施。（今年度も8月23日（水）～25日（金）実施予定）
6. 派遣学生と受入学生の合同による、「日本の伝統文化と美を知る 作陶体験」の実施
7. 4地区（長野2600：山梨・静岡2620：岐阜・三重2630：愛知2760）合同による「青少年交換白馬スキーの集い」の参加
8. 派遣学生と受入学生合同による、日本芸術自然体験研修（飛騨高山）の実施

○国際RCからのテーマ

1. 2015年5月14日実施 「RI 青少年交換事業評価審査会」：エバンストン Mrs. シャロン

・年4～5か国を巡回。世界各地の認定地区がどのようにプログラムを運営しているかを知り、また方針と指針に沿って交換を実施しているかを確認調査するというもの。全体に大変高評化を頂いた。改善点も指摘されたが、全て改善済み。

【テーマ】危機管理・日本でのセクハラ問題など

○当2630地区のホストクラブの最近抱えている問題点と改善策

1. ホストファミリー受入れの「なり手」減少。(介護問題・奥様の拒否など)

- ・ロータリアン宅に子どもがいない(メンバーの高齢化)
- ・弁当を作る手間(自分で作らせては?海外では当たり前)→解決策
- ・クラブ間で受入れ作戦(半期・半期で負担按分)
- ・岐阜のあるクラブでは、ホストファミリーの負担軽減の為、サブホストファミリー制を導入。*週末など学生を預かり交互にフォローされているようです。クラブ全体で、学生を受け入れる。ファミリーの理解。交換学生事業を支えている。

2. 派遣学生の派遣先での語学力・会話不足からくる問題と誤解。アーリーリターンされる場合も。多くの学生は帰国時には生き生きと輝いた目で、報告してくれる。

- ・本年度から帰国学生、保護者の申し送り事項の作成。心構え等、良い傾向
- ・厳しく採用選考(語学力よりも<志向・意欲>) *もちろんロータリアン以外(一般)からも

3. 何よりも留学希望者の減少

- ・日本人学生の海外留学離れが近年鮮明に。その要因は?
- ・日本人学生の内向き傾向が強まり、「外国に出るリスクへの恐れを反映している」
- ・費用が高い印象(民間業者によっては4~500万円もかかる)。

- ・ロータリー交換留学では100万円位(県から補助金30万あり)。認知度が低い。

- ・外国語が苦手。
- ・大学入学に不利(大学生の留学の場合は就職に不利)、1年間余分に通学。(殆どの国の学校では1年間就学証明書を発行する)・A0入学の活用。→解決策

【認知アップ作戦展開中】

- ・岐阜、三重県内の全高校対象にポスターの作成配布。
- ・委員会メンバーの高校訪問。→ロータリアンとは関係ない学生から応募3人
- ・受入のみクラブ募集に4クラブ応募あり。
- ・岐阜県庁の教育長訪問。ロータリー留学制度の認知UP。県の理解。

4. アメリカからの留学生の早期帰国(昔から米国からの留学生に悩むこと多々)

- ・アメリカは、オハイオエリーのようにエリアが広いため、来日に際してオリエンテーションを開いていない。
- ・ホストファミリーとトラブルを起こす。学校に馴染めない。
- ・日本語習得の難しさ、挫折感。18歳の子が1年生

クラス→幼く見える。

- ・日本が1番の希望国でない時も。人種差別意識はないと思うが・・・

※彼らのストレス発散方法も大切 — この地区では実施(来日派遣学生同士のコミュニケーション、LINEの活用、相談するシステム、話をする)

※大きなコミュニケーション エステル日本語検定3級、ブリアナ4級合格

◆IGMの報告 報告者 酒向徳享さん

日時:5月15日(月)18:30 場所:丸吉寿司

ホスト:古田貴己 リーダー:堀部哲夫

義務出席者:細野直則、酒向徳享

特別出席者:今峰徹、大澤竜一

◆幹事報告

◎新会員候補者6名発表

◎市川義和さん 来月より、再入会

◆6月ゴルフ会

日時:6月4日(日)10:28

場所:岐阜関C.C

優勝:堀部哲夫さん

2016~17年度取切杯 年間最少ネット 土屋佳久さん



次例会のご案内 6月20日(火)

「これからの農業情勢について」

JAめぐみの 組合長 山内清久様

担当:会長・幹事

例会:毎週火曜日12:30
例会場:岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
事務局:岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ2F